

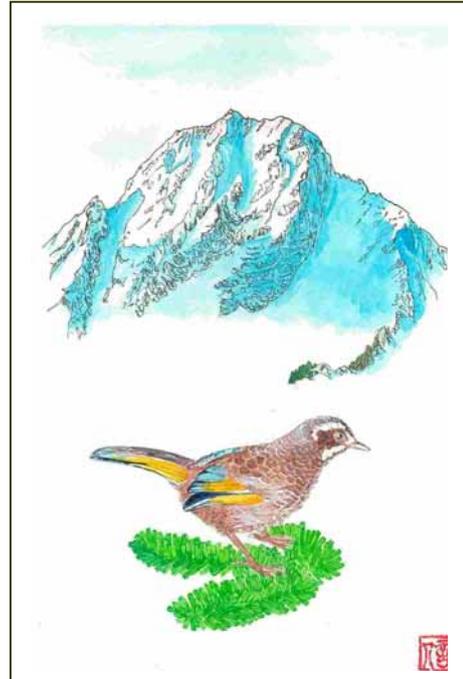
住化・住武相談室だより

第12号 12月12日
 発行 住友化学・住化武田農薬
 お客様相談室 0120-677-088
 発行責任者 古津 昇

i-農カサイト <http://www.i-nouryoku.com/index.html>

目次

やさしい農薬の知識 (No.5)	p. 1
【工場の緑化担当者とおじいさんの金魚と農薬】	
知って得する防除の仕方①	p. 2
コガネムシ用新規BT剤 (シリーズ②)	
ブイハンターフロアブル	p. 3
雑草よもやま話 (12)	p. 4
住化アグログループ「住化農業資材(株)」 . . .	p. 5
今月の相談内容から	p. 6
知って得する防除の仕方②	p. 6
今月の推進農薬 ベンレート水和剤	p. 7
農薬あれこれ?なぜなに?コーナー	p. 8
病害虫発生情報	p. 9
登録情報	p. 10
最近の「お・・美味しい!」	p. 11
コラム・そば談義	p. 12
編集後記	p. 13



「台湾の玉山・金翼白眉とモミ」
 技術顧問 富樫 作

やさしい農薬の知識 (No.5)

【工場の緑化担当者とおじいさんの金魚と農薬】

川沿いの小道を散歩していて、まだ残暑が残る9月頃に工場の緑化担当者から相談を受けた内容をふと思い出した。その担当者に思わず同情してしまうような内容で、近隣住民との良好な関係を維持するのも大変だと思ったものだ。

「工場の敷地内の木に〇〇乳剤を散布したのですが、川を挟んだ向こう側の住民の方から庭の金魚が数十匹死んだとクレームを受けまして . . . 。そんなことあるでしょうか」

「それは考えられません。川を挟んで数十メートル離れた、それも家の陰になった池の金魚が散布数日経ってドリフトした農薬

で死ぬなんて考えられません。そんなことなら川の魚も影響受けるはずですよ。そんな風に説明

してはどうですか」
 「そのように説明したのですが、納得していただけてなくて困っています。何かアドバイスもらえませんか」

何か考えてみますと、その場は電話を切ってその剤についていくつか調べた。そんなこと有り得ないというのを、具体的な数値を示して金魚のおじいさんを説得して



ではどうかと、その農薬の魚に対する毒性や川の水での分解性などを調べた。

「先ほど電話でご相談頂いた件ですが、そのおじいさんに次のような説明をしてはどうでしょうか。まず、本剤の魚に対する毒性濃度は△△ppmです。本剤を池に直接散布した場合、大まかな計算では魚が死ぬような濃度の数倍程度になります。住宅との距離や池の配置を考えてみても、散布量の数分の一がその池に到達することは考えられません」

その他に、その剤の河川での分解性データでは数日で十分の一程度に分解すること、その剤の影響だとすれば散布後すぐに金魚

に影響が現れるはずである旨を伝えた。電話の後、根拠となる数値データや池の濃度の計算方法をその担当者にファックスした。

その後連絡のないところを見ると、金魚のおじいさんは納得したのでしょうか。まだ残暑の厳しい折、酸欠にでもなって金魚が死んでしまったのだと思うのですが。

農薬については、水生生物（魚、ミジンコ、藻類）、ミツバチ、天敵昆虫、鳥など各種の生物に対する影響が調べられています。製品ラベルの注意事項に従って適正に使用して頂けば、環境生物に悪影響が及ぶことはないのですが・・・。(原)

知って得する防除の仕方

「タマネギ用除草剤のあれこれ」

タマネギ栽培で、9月には種する秋播栽培は関東1,200ha、東海2,500ha、近畿4,900ha、中国1,100ha、四国1,700ha、九州3,000haで全国14,400haの栽培のある大きな作物です。

10月～11月に定植されたタマネギの生育は緩慢で雑草も同様ですが、3月～4月の気温の上昇に伴ってタマネギも雑草も急速に成長し除草が不完全な畑では思わぬ雑草害をこうむることになります。



従って定植直後の土壌処理剤と1月～3月に発生している雑草の除草が大切です。定植後の除草には土壌処理で残効性ある「クレマート乳剤」「クレマート粒剤」「トレファノサイド乳剤」などがあります。10a当り200～400ml（トレファノサイド乳剤：200～300ml）を100Lに希釈して散布します。粒剤は4～6 kg/10 a です。

1月～3月にかけて発生してきたイネ科雑草と広葉雑草に対してはそれぞれに適用した除草剤を混用して散布します。「セレクト

乳剤」が畑地一年生イネ科雑草の3～5葉期の散布で完全に枯らすことができます。薬量は10a当り50～75mlで、100Lに希釈します。雑草の発生が極めて多い場合は展着剤の加用で効果は一層高まります。この方法で防除の困難なスズメノカタビラにも卓効を示します。

畑地広葉雑草対策は「バサグラン液剤」が、アカザ科・アブラナ科・

キク科・ナデシコ科・タデ科・カヤツリグサ科雑草等に卓効を示しますので「セレクト乳剤」との混用散布が最適です。「バサグラン液剤」は移植後タマネギの生葉4葉期までで、広葉雑草の発生揃いから3～4葉期までが防除適期です。10a当り60～120mlを100Lに希釈して散布します。直播栽培や苗床には使用できません。(富樫)

コガネムシ用新規BT剤(シリーズ)

「ブイハンターフロアブル」

殺虫活性の仕組み

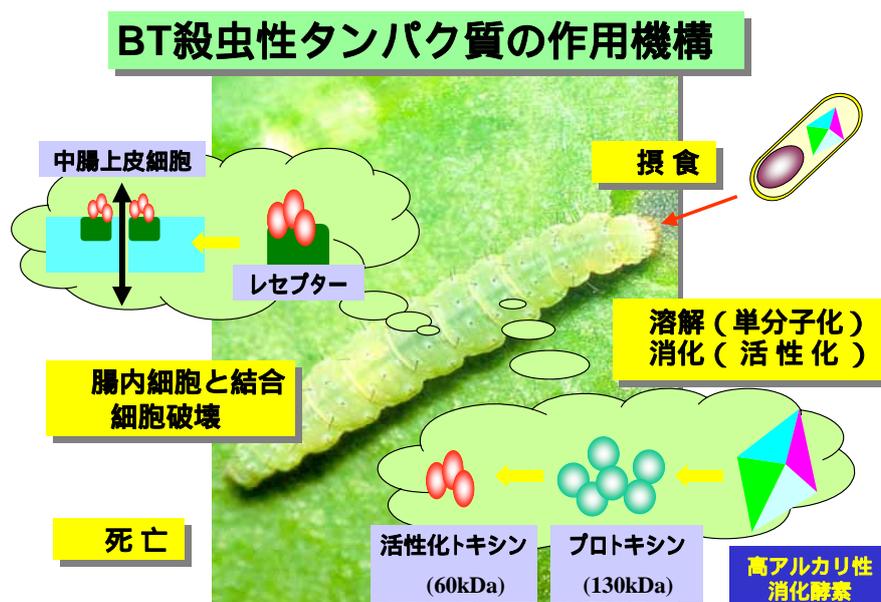
先月号に記載しましたように、Bt菌はその種類(菌株)によって特定の昆虫に対して選択的に殺虫活性を示します。その種類は蛾や蝶の幼虫(りん翅目)を筆頭としてボウフラ(双翅目)あるいはハムシ幼虫(鞘翅目)など多種にわたっています。

ブイハンターの成分となっているBt菌株(通称ブイブイ株)はコガネムシ類幼虫に対して特異的に殺虫活性を持つ世界的にもユニークなBt菌株であるといえます。これまでに、ドウガネブイブイをはじめとした農業上重要な12種類のコガネムシ類幼虫(ドウガネブイブイ・マメコガネ・セマダラコガネ・ヒメコガネ・コガネムシ・アオドウガネ・サクラコガネ・チビサクラコガネ・ヒラタアオコガネ・スジコガネ・アシナガコガネ・ナガチャコガネ)に対して殺虫性が確認されています。その一方、コガネムシ以外の昆虫に対しては全く殺虫性が認められていません。

さて、ブイハンターを含め全てのBT剤(Bt菌)が殺虫活性を示す為には、昆虫が本剤(菌)を摂食する必要があります。次にその仕組みを少し詳しく説明します。

Bt菌は細胞の中に増殖用の芽胞と共に殺虫作用を引き起こす主成分である殺虫性タンパク質を作ります。この殺虫性タンパク質が昆虫に摂食されると(例えば、アオムシがBT剤を散布したキャベツ葉を食べる)(下図①)、腸内の高アルカリ性消化酵素によって消化・分解され(②)、殺虫性を持つ物質(活性化トキシン)に変化します。この毒素が腸内の特定の部分(リセプター)に結合すると、腸内細胞が破壊されてしまいます(③)。最終的に体内で細菌が繁殖して敗血症を起こして死亡に至ります(④)。

このようにBT剤を上手く利用するためには、なるべく効率的に害虫に摂食させるような処理方法が必要となってきます。そこで今回はブイハンターの使い方とその防除効果についてご紹介致します。(丸山)



雑草よもやま話(12)

コナギは発生初期の徹底を！

コナギは別名ミズナギとかササナギと呼ばれ、水田の重要雑草の一つでしたが、**2,4-D**をはじめとする多くの有効な除草剤の普及により、次第に問題雑草という意識が少なくなりました。

しかし、現在でも管理が疎かになったりすると多発生し、多量に発生した場合はイネの収量に最も影響を及ぼす雑草であることには変わりはありません。特に最近では、スルホニルウレア系(SU)の除草剤に抵抗性を持ったものが出現し、防除の重要性が改めて見直されております。

コナギはミズアオイ科の植物で、この科に属する雑草にはコナギの他にミズアオイ、ホテイアオイ、アメリカコナギが知られております。ミズアオイは、全国的には絶滅が危惧されていますが、北海道ではSU抵抗性生物型が出現し、防除上問題となっています。ペットショップなどで売られているホテイアオイは、わが国では雑草としてはほとんど問題とはなっておりませんが、熱帯地方では水路や池の雑草として大問題となっております。アメリカコナギは、**1973年**に渡来した帰化雑草で、岡山県などで水田雑草としての報告があります。

コナギが発芽するためには**15～16℃**の気温、湛水条件、光が必要です。出芽は代掻きを行った条件では**2mm**程度に限られます。イネの種子や幼苗にはコナギの発芽・出芽を促進する作用があります。しかも促進効果はイネの催芽種子や**10日**苗には見られますが、**20日**以上の苗では見られません。この発芽促進物質



ミズアオイ (水葵) ミズアオイ科

はイネ種子や籾殻に含まれているそうです。前年にコナギが発生した圃場で湛水直播栽培や乳苗移植栽培をすると、コナギの発生が増える可能性があります。

コナギは窒素の吸収力が強く、雑草害の要因は主に養

分競合と考えられていますが、イネの分げつ芽に対する遮光の影響もあるといわれています。イネの生育に及ぼす影響は他の雑草よりも大きく、特に少肥条件下で顕著に現われます。一方、水稲移植後2～3週間以降に発生したコナギは、ほとんど生育せず種子を生産しないといわれています。発生初期にしっかりと防除することが大切です。(岩崎)

住化アグログループ紹介

住化農業資材株式会社

スミサンスイ 3商品のご紹介

植物にとって重要なキーワードは、おおむね【光・温度・灌水・防除・肥料】になるでしょうか。防除や肥料に、たくさんの種類や方法が紹介されるように、**灌水**もチューブによって、いろいろな散水タイプがあり、弊社では、その目的に合わせた商品群を豊富に取り揃えております。

今回は、数あるスミサンスイの中でも地面に敷設して、噴水状のワイドな散水が可能な、スミサンスイR露地ワイド・Rハウスワイド・R育苗の<三姉妹>をご紹介します。穿孔パターン以外は、同じ姿の黒色ポリエチレン製の肉厚チューブです。(いずれも、1巻、100m巻)

◆最大散水幅は次の通り。

スミサンスイR露地ワイド	10m	
スミサンスイRハウスワイド	8m	同



スミサンスイR育苗 5.4m

上記のように露地ワイドは、露地向けの程よい水粒で最大10mの散水幅を誇る長姉、末妹のR育苗は、散水幅5.4mながら、全ての散水孔が、チューブ頂上部より4.5度以内に穿孔されているため、高畝の灌水にも対応できる大きな特長を有します。一方ハウスワイドは、ハウス専用らしい優しい水粒、しかも4.5~8.0mの散水幅が可能と、適応幅が広い万能タイプです。チュ



ーブにより少々異なりますが、おおむね0.1~0.2Mpa (1.0~2.0kg/cm²)の圧力で使用し、どれも全面均一散水が自慢です。

◆適応作物例

○スミサンスイR露地ワイド：露地の葉菜・根菜・軟弱野菜 全般

○スミサンスイRハウスワイド：水稲・軟弱・イチゴ育苗および活着他

○スミサンスイR育苗：水稲・軟弱・イチゴ育苗および活着他

露地の「高畝作物」など耐久性については、通常7年以上です。

同時に、ろ過器のディスフィルターとチューブ入り口部にメッシュ素材のチューブフィルター(写真)のご使用をお奨めしております。



スミサンスイR 三姉妹のほかにも、ハスサイド敷設の作業性の良さと、優しいミスト散水が特長のミストエースS54・72も各地の生産者の方々にご愛顧いただいております。

今後も、全国生産者の方々のニーズにお応えできる製品をご提供できるよう、営業と開発が一丸となって、一層努力していく所存でございます。

今月の相談内容から

庭の厄介なゼニゴケ防除は？

質問

庭にゼニゴケがびっしり生えて大事な草が枯れて困っています。普通の除草剤で枯れず、手で取っても取りきれないので上手

な除草方法を教えてください。



回答

ゼニゴケは孢子で繁殖し、増殖すると小さな植物を圧倒します。

一般の茎葉処理除草剤ではゼニゴケだけが残し他植物が無くなり裸地化した所に更に広まり大変厄介です。「ハービー液剤」は庭園、宅地、公園等の一年生雑草や多年生雑草と共にゼニゴケを枯らすことのできる除草剤です。有効成分は天然物由来品で安全性が高い薬剤です。果樹・野菜などの雑草にも茎葉散布で登録が取れています。散

布液は土壌表面で吸着、分解されますので後作に影響が残りません。散布で一年生・多年生雑草や厄介なスギナにも良く効きます。ゼニゴケに直接散布すれば完全に枯らすことができます。スギナ等や多年生雑草が多い場所では100㎡当り「ハービー液剤」100mlを水10Lに溶かし(100倍希釈液)雑草の茎葉全体に十分付着するように噴霧器で散布します。数日で枯れます。(富樫)

知って得する防除の仕方②

ねぎのシロイチモジヨトウ防除について

7月以降にねぎの葉先が白く見える畑が目立ちます。これはシロイチモジヨトウの被害です。ねぎに喰入し、葉身内部を集団で食べ表皮を残すので葉が白っぽく見えるのです。シロイチモジヨトウは1960年代に九州で問題になり1980年代に関西で大発生し、その後北上し現在は関東でも大発生しています。これも地球温暖化の影響でしょうか？



発生消長はフェロモントラップの観察では5～11月に大量飛来が有り、ねぎへの産卵は7～11月まで連続します。年間の発生は5～6世代です。防除が困難な理由は葉身内部に喰入したり、葉をつづるため薬剤が直接接触しにくいことから防除が困難な害虫です。広範囲の一斉防除の考え方からフェロモン

剤(コンフューザV・ヨトウコンS)等で地域に密度低下を図ること。抵抗性回避のため、ふ化～若令期を狙って作用の異なる系統の薬剤散布が必要です。シロイチモジヨトウに登録のある弊社の薬剤としては、合ピレ剤のアディオン乳剤・アグロスリン乳剤、カーバメート剤のランネート45DF、BT剤のフローバックDF・ゼンターリ顆粒水和剤があります。新しく、殺虫作用の異なった薬剤ではプレオフロアブルがあります。プレオフロアブルは大型りん翅目害虫のヨトウムシ・ハスモンヨトウ・オオタバコガに効果が高く、ねぎ以外の作物ではキャベツ・はくさい・レタス等にも使用できます。これらの作用の異なった薬剤でのローテーション防除が必要です。(富樫)

今月の推進農薬

柑橘の貯蔵病害対策について

貯蔵病害(果実腐敗)にベンレート水和剤

貯蔵病害(果実腐敗)には多くの種類があり、大別すると病原菌(糸状菌=かび)が果実表面に付着する「青かび病」、「緑かび病」、「灰色かび病」等と菌が果皮内に潜在する「軸腐病」、「黒腐病」、「黒斑病」等があり、「青かび病」、「緑かび病」、及び「黒点病菌」による「軸腐病」が三大貯蔵病害です。果実表面付着型の病害は、比較的貯蔵初期に発生することが多く、果皮内潜在菌は貯蔵後期の発生が多い。但し、「青かび病」等は、貯蔵庫内の菌密度が高くなると後半に多発することもあります。

貯蔵用果実の腐敗防止対策は、①肥培管理により貯蔵性の高い果実をつくる。②薬剤による防除では、数ある貯蔵病害すべてに有効な薬剤はないので、目的に適合した薬剤を選択し、最適な散布時期に、丁寧に散布する。③収穫時には果実に傷をつけないように注意し、傷害果は貯蔵しない。④入庫時には、予措(風乾により、果実の水分を重量で3~4%低下させる)を行う。⑤貯蔵庫への入庫量を適量とし、貯蔵管理を十分留意して行う。⑥点検は丁寧にいき、腐敗果は可能な限り早めに庫外に出す など、薬剤防除とあわせて総合的な腐敗防止に努めることが肝要です。

住化アグログループでは、貯蔵病害(果実腐敗)のうち、「青かび病」(写真参照)「緑かび病」「軸腐病」「炭疽病」「黒斑病」に登録を有する「ベンレート水和剤」<4,000~6,000倍/4回/収穫前日まで(温州みかん)、収穫7日前まで(かんきつ[温州みかんを除く])>を発売しています。

本剤は、果実の鮮度保持(老化防止)に



も効果があるとされるなど優れた点を多々有していますが、残念ながら「黒腐病」には効果がありません。また、薬剤耐性の「緑かび病菌」の問題が発生している地域もあります。

そこで「ベフラン液剤25」との「混用試験」で行った結果、両剤を混用することによりそれぞれの欠点が補われ、腐敗防止効果が向上することが明らかになりました。また、「最適散布時期の検討試験」からは、普通温州や中晩生かんきつなどの収穫後出荷までの貯蔵期間が長いものでは、「収穫21日前頃の散布が効果的」との結果が得られ、ハウスマカンや早生温州などの貯蔵期間が短く収穫後早めに出荷される(1ヶ月以内)ものは、「収穫時期に近いほど効果的」との結果でした。

(打和)



「使用回数」って どういうこと?

ご質問

農薬のラベルを見ると、使える作物、どれだけ薄めるか、使い方などが書いてありますが、よくわからないのが「農薬を使う回数」についてです。

例えば、「スミブレンド水和剤」という殺菌剤で「トマト」の欄を見ると、

- 本剤の使用回数 3回以内
- ジェットフェンカルブを含む農薬の総使用回数6回以内

●プロシミドンを含む農薬の総使用回数3回以内とありますが、このそれぞれの回数は「これだけ使わないと効かない」という意味ですか?

そうすると、なんだかとってもたくさん撒かないといけないと思うのですが、こんなに撒いて大丈夫なのでしょうか?

お答え

これらの使用回数は、最後に使用できる収穫前の日数とともに、収穫物の安全を確保するために定められている、使用回数の制限を示しているものです。

したがって、この回数は「何回まで撒いても、食品としての安全が確保されています」という意味で、「これだけ撒かないと効きません」という意味ではありません。

スミブレンド水和剤はトマトでは3回まで撒けますが、本剤の1成分であるジェットフェンカルブを含む他の農薬、例えば、ゲッター水和剤はトマトでは5回まで撒けることになっています。

しかし、ジェットフェンカルブという両剤に共通の有効成分は、トマトでは6回まで

しか撒け

ないことになっていますので、スミブレンド水和剤とゲッター水和剤は、トマトで使用する場合は、両剤の使用回数を合算して6回までしか使用できないこととなりますので、ご注意ください。

例えば、スミブレンド水和剤を3回使用した時は、ゲッター水和剤は3回までしか使用できないこととなります。このように、農薬の場合、商品名は違っていても、同じ有効成分を含むものもあります

ので、ラベルをよくお確かめの上で、ご使用ください。

(佐伯、稲葉)



病害虫発生情報

11月～12月初めに各県からの病害虫注意報・特殊報から、主要なものをお知らせします。

ウイルス病

○トマト黄化葉巻病：神奈川県・徳島県

シルバーリーフコナジラミにより媒介されるトマト黄化葉巻ウイルスにより発生します。

○トルコギキョウ葉巻病：愛知県

シルバーリーフコナジラミにより媒介されるウイルス病です。ベストガード水溶剤が、「花き類・観葉植物」の「コナジラミ類」に登録があります。

○コナジラミ類/さやいんげん、トマト他：鹿児島県/野菜類：福岡県、施設果菜類・花き類：高知県

○タバココナジラミ/バイオタイプQ、トマト・ミニトマト・メロン：熊本県。

シルバーリーフコナジラミ（バイオタイプB）との形態による区別は、現時点ではできません。従来のコナジラミ防除薬剤に対しては、感受性が低い系統ですが、ベストガード剤の効果は、このQタイプでも優れているという試験報告があります。薬剤防除だけに頼らず、防虫ネットの設置などの耕種的な防除法との組み合わせが必要です。

きゅうり

○黄化えそ病：大分県

ミナミキイロアザミウマにより媒介されるウイルス病です。

ダントツ剤、ベストガード剤、アグロスリン剤などで防除してください。

○キュウリホモプシス根腐病：宮城県

防除薬剤はなく、太陽熱消毒、蒸気消毒などが、有効です。

メロン

○モザイク病：茨城県

ウリハムシなどの甲虫類により媒介されるウイルス病です。マラソン乳剤で登録

があります。

いちご

○うどんこ病：佐賀県

サルバトーレME、サプロール乳剤などで防除してください。

○ハダニ類：愛知・岐阜県

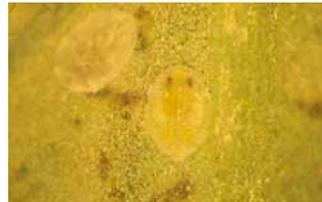
オサダン水和剤・フロアブル、ロディー乳剤、くん煙剤としてスカイマイトくん煙剤、ロディーくん煙剤などの防除薬剤があります。

いちじく

○イチジクヒトリモドキ：兵庫・高知県

登録薬剤はありませんが、従来からのスリップス防除などの薬剤で、同時防除ができると考えられています。

(稲葉)



タバココナジラミの4齢幼虫



ウリハムシ成虫

登録情報

11月16日から11月30日までの適用拡大です。

【殺虫剤】

薬剤名	変更点	作物	害虫名	使用量	内容
アグロスリン乳剤	作物追加	わけぎ	シロイモシヨトウ	1000倍	収穫3日前 2回以内 散布
			ネギハモグリバエ アブラムシ類 ネギコガ アザミウマ類	2000倍	
アディオソ乳剤	作物追加	リーフレタス	アブラムシ類 ヨウムシ	2000～3000 倍	収穫14日前 2回以内 散布
		とうがらし類	アブラムシ類	2000～3000 倍	収穫7日前 2回以内 散布
			タバコガ	2000倍	
つるむらさき	ヨウムシ	2000倍			
スミチオン乳剤70	使用時期 変更	茶	ナガチャコガネ幼 虫	2000～4000 倍	10月～12月 (摘採90日前ま で)
ダントツ水溶剤	作物追加	ピーマン	モモアカアブラムシ	4000倍	収穫前日 2回以内 散布
			ミナキイロアザミウ マ	2000倍	
		キャベツ	アブラムシ類	4000倍	収穫3日前 2回以内 散布
	大豆	アブラムシ類 カメムシ類	2000倍	収穫7日前 3回以内 散布	
	使用時期 変更	なし			収穫前日まで
ダントツ粒剤	作物追加	ピーマン	アブラムシ類	1g/株	定植時 1回 植穴処理土壌混和
		キャベツ	モモアカアブラムシ コナガ、アオムシ	0.5g/株	育苗期後半 1回 株元処理
ダントツH粉剤	作物追加	大豆	アブラムシ類	3kg/10a	収穫7日前
			カメムシ類	4kg/10a	3回以内 散布
ベストガード粒剤	使用方法 追加	レタス	ナモグリバエ	10g/培土1L	は種時 育苗培土混和

薬剤名	変更点	作物	害虫名	使用量	内容
マラソン乳剤	作物追加	あしたば	ウドノメイガ	1000倍	収穫7日前 3回以内 散布
	作物名 変更	花き類(草本植 物)・観葉植物			「花き類・観葉 植物」に変更
	使用時期 使用回数	たばこ	アブラムシ類 ヤサイゾウムシ	1000倍	収穫10日前 2回以内

【殺菌剤】

薬剤名	変更点	作物	病害名	使用量	内容
ゲッター水和剤	作物追加	えだまめ	紫斑病	1500倍	収穫7日前 3回以内 散布
			莢汚損症		
スミブレンド水和 剤	作物追加	みつば	灰色かび病	2000倍	収穫21日前 1回 散布
			実えんどう		

★ゲッター水和剤は、上記以外に使用回数・希釈倍数に変更のあったものもありますので、弊社お客様相談室にお問い合わせください。(稲葉・佐伯)

最近の「お・・・美味しい!!」



弊社相談室紅一点!の佐伯がお送りします
最近の「お・・・美味しい!!」
女性の目・主婦の目・はたまた酒呑み??の目(笑)で、
毎月「これぞ!!」というものを紹介します。
どうぞお楽しみに♪♪

「きりたんぼ鍋 食べてきました」

最近、だいぶ寒くなってきましたね。近頃ニュースでは「鍋物指数」なんていう言葉も出てきて、とうとう鍋の季節到来です!

先日、友人と珍しく「六本木」に出かけました。
お目当ては・・・「秋田郷土料理」のお店!!
このお店では、時間になると「なまはげ」がちゃんと「なぐご(泣く子)はいねがあ〜!!」と、席まで脅しに来るんですよ。その、なまはげお勧め「なべっこ」。きりたんぼ鍋ですが、濃い目のダシに鶏肉とか野菜をわんさか入れて(中でもゴボウが旨い!)これだけでも充分美味しいのに、そこへ満を持して「きりたんぼ」を投入!私はおじやとか、雑炊とか、ごはんがダシとかスープに浸っている食べ物が大好きなので、これは願ったり!!大変おいしくいただきました。大根の「がっこ(漬物)」もおいしかった! ごちそうさま ★ (佐伯)



鍋が上手に撮影できなかったので投入する前の具たちを・・・

コラム・そば談義

20年前転勤で大阪から東京（国分寺市）に一家でやってきた。

当時、立川駅界限は米軍基地の名残がまだ色濃く、路地裏は小さな飲み屋や少し如何わしい店が軒を連ね、大阪から来たものにとっては結構おもしろい街だった。しかし、今は大きく様変わりし、よそゆきの顔(街)になってしまった。

そんな一角から少し離れたところに、今回ご紹介するそば屋さん「しえ・もと」がある。少し変わった屋号でも解かるようにそばとフランス料理を出す店である。先日、昼食にざるそばと小海老の掻き揚げ丼セットを注文した。出された「新そば」は美味しく香りもあり、私の舌ではかなり上のランクに入る。しかし、女房は量の多さに四苦八苦していたが。

ところで、フランス料理とそばの取り合わせと聞いて、何だか楽しい気分になる。その辺りの経緯については、夜に店を訪れて、酒の肴ではないがじっくり店主にお聞

きしたいものだ。

さて、今年一年を振り返り、お客様相談室の担当として果して対応がキチンと出来たのかと考えてみる。結論は、まだまだ満足のいく対応は出来ていないのではと思う。理由は色々あるが、「まごころ」の溢れたふれあいがお客様と出来ているだろうかと反省する。お客様と心を高めながら共に成長していく気持ちの交流が今後の課題かと思う。また、社内の人達とも同じ気持ちで取り組んで行きたい。

「しえ・もと」のシェフではないが、お客様に本当に美味しいものを出し、出された方も満足し共に歓べるような相談室になりたいと思うのだが・・・。（古津）

「しえ もと」
立川市曙町2-20-5
TEL 042-529-5468

[編集後記]

今月は、そば打ちに忙しい。

新そばが一番美味しい時期である。今年は、会津産・福井産などを含めて5種類のそば粉が我が家にある。おもしろいもので、どの産地のものもすべて癖があり、同じ水回しや捏ね方ではうまくいかない。要するに品種も違えば、育った場所や土壌・気象条件が違うためか、それぞれ個性溢れた顔を持っている。その個性を活かしながら、水や繋ぎの分量を微妙に調整しながら捏ねていくのが難しくもあり楽しい。

さて、今月は連載もの「肥料のはなし」をお休みしました。来年の早い時期から再開したいと筆者から連絡がありました。

また、新年号では「お客様相談室だより」のアンケート調査を計画しています。お答え戴いた方には、美味しい賞品を検討中ですのでぜひご応募してください。最後に、i - 農力のホームページが来年から新バージョンになりますのでご期待ください。

